

平成 21 年度 学校評価（自己評価）

I. はじめに

学校における最も重要な項目は、**園児の育ち**と、その為には**先生の質の向上**にあると考える。それ故、平成 20 年度は、大きくはその 2 点に絞り、学校評価を行った。本年度は、全保護者にアンケート(無記名)を実施し、その結果を基に学校評価を行うが、平成 20 年度の学校評価とも密接に関連し、それらの評価の客観性を補填する意味合いもある。

II. アンケート結果の概略の紹介

上記のアンケートの中から、安松幼稚園の本質的な部分に関わる 11 項目を取り上げて、アンケート結果の概略を、さきに紹介・評価する。
数字は、全 264 家庭を全体集合とする % である。

	5 全く賛成	4 ほとんど賛成	4 以上の 合計
安松幼稚園の教育に対する考え・姿勢・教育内容等について			
A① 幼児期にこそ、人としての骨太なところを育てたい	85.2	12.2	97.4
A② 教育は子供の周りから困難やプレッシャーを取り除くのではなく、それらを乗り越える力をつけることにある	84.8	13.6	98.4
A③ 幼児期には、一生懸命に頑張り、何かを成し遂げた時に感じることの出来る喜びや達成感を体験させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への積極性や自尊感情を養う基となる	90.1	9.5	99.6
A④ 基本的な生活習慣は、幼児期に身に付けさせるべきである	92.4	6.8	99.2
A⑤ 幼児期に、人として良いこと悪いことなどの善悪のけじめを身に付けさせたい	96.2	3.4	99.6
先生の質について			
D① 理事長・園長の理念が明確に伝わってくる	91.3	7.6	98.9
D③ 先生方は園の方針を理解し、同じ方向・考えに立って、教育に取り組んでいる	88.6	10.3	98.9
D④ 先生方は、熱〜い心を持って子供に接してくれている	92.8	5.7	98.5
D⑧ 子供に担任だけが関わるのではなく、全ての先生で見守ってくれている	87.5	9.8	97.3
D⑩ 先生のレベルは、総合的に判断して高い	86.4	11.4	97.8
最終的につきつめると			
G④ 安松幼稚園に入園させて良かった	90.2	7.6	97.8

注：なお**グラフ**にも示しておく。

III. アンケートの取り方

アンケートは無記名であるが、年少・年中・年長の学年所属については、記入してもらい、全項目について、5, 4, 3, 2, 1 の 5 段階からの選択とした。(約 264 家庭です)
年少さんなどで、まだ経験がなく判断できないという場合は 0 の選択肢を設けた。
詳しくは下記の通りである。

項目 A, B については、5 : 全く賛成 4 : ほとんど賛成 3 : 普通 2 : どちらかといえば反対 1 : 全く反対の感覚でお答え下さい。

項目 C, D, E, F, G については、5 : 全くそう思う(感じる) … 略 … 1 : 全くそうは思わない(感じない)の感覚でお答え下さい。

学年によっては、経験がなく、まだ考えたことがないとか・思ってもみなかった という設問があると思います。その場合は、番号 0 を選択下さい

IV. アンケートの大きな項目

下記の如く A, B, C では、安松幼稚園の教育に対する考え・姿勢・教育内容等について、保護者の意見・感想を問うた。

Dでは、安松幼稚園の先生の質について、保護者の率直な意見を問うた。安松幼稚園では「学校は教師力で決まる。先生の指導力と熱意が誇り」と考えているが、教育の質を保証する最も大きな鍵は、先生そのもののレベルである。この意味で、設問 D は、安松幼稚園の教師力を真っ正面から問いかける質問である。

そして E, F では、子供の育ち

G では、保護者そのものの変化を問うた。

具体的には次の 6 項目に分け、全保護者の意見・感想の集約を行った。

- A. 安松幼稚園の教育に対する考え (人としての育み)
- B. 安松幼稚園の教育に対する考え(カリキュラムなどの教材面)
- C. 安松幼稚園の行事 (運動会・生活発表会・遠足等は幼稚園行事の定番として、それ以外の行事について、続けてほしいかどうかについて)
- D. 安松幼稚園の先生について
- E. 子供の人としての育ち (安松幼稚園に入園しての変化)
- F. 子供の各領域における育ち
- G. 保護者の変化

アンケートの中には、例えば

D⑤ 子供に注意し叱る必要のある時は、きちっと対応してくれる。

D⑥ 保護者に迎合することなく、必要なことは苦言も含めて伝えてくれる

等々の項目も含まれている。

これらの項目の設定そのものが、現在の社会(モンスターペアレンツの存在など)では、園にとってなかなか厳しいものではあるが、安松幼稚園では、先生の間も、保護者との関係においても、「風通しよく率直に」を目標としている。誠実さと熱意は必ず伝わると信じ、上記の項目もアンケートに含めた。ここに、結果もお知らせしておく。

	5 全く賛成	4 ほとんど賛成	4 以上の 合計
D⑤ 子供に注意し叱る必要のある時は、きちっと 対応してくれる	88.3	10.2	98.5
D⑥ 保護者に迎合することなく、必要なことは 苦言も含めて伝えてくれる	83.3	10.6	93.9

また安松幼稚園の先生の質についても率直に意見を求め、最終的には、安松幼稚園に入園させて良かったかどうかを問うた。

今後とも、真正面から、安松幼稚園の有り様について、保護者の意見・評価を求めたく思っている。

V. アンケートの全ての結果(264 家庭)

全 50 項目のアンケートであったが、全ての結果は[こちらをご覧ください](#)。

VI. まとめ

IV、Vの結果から、安松幼稚園の教育に対する基本理念や先生の資質・熱意に関しては、ほとんどの項目で、評価 5 は 90%前後、評価 4 以上は 98%前後と非常に高い評価を得ている。

これは、平成 20 年の学校評価で述べたことだが、先生の熱意と指導力を高めるための日常の情報交換や色々な園内研修の継続が、その根底にあると考えられる。

今回の評価でも触れ得なかった「特別支援教育」に関しても、この 6 年間、園外・園内の多くの研修をなし、支援を必要とする園児を一定数受け入れ成果を上げてきたが、今後とも継続することが重要と考えている。

VII. 最後に

●これら平成 21 年度 学校評価（自己評価）の基となったアンケート結果を学校関係者委員会に提出し、学校関係者の評価を得たいと考えた。

回答が選択肢であるアンケートだけでは物足りなく、別紙に幼稚園に対する思いや意見や感謝を文に綴って提出された保護者も多くあった。無記名のアンケートにかかわらず、氏名を記入されて謝意を表される保護者も少なからずあった。有り難いことである。

それらを含め、上記の自己評価に基づいて、学校関係者評価が出されたので、次に平成 21 年度学校評価（学校関係者評価）として、お知らせする。

●上記とは全く異なる内容だが、21 年度中の新型インフルエンザの流行に対して、ダイキンの空気清浄機 15 台を購入し全ての教室・遊戯室に設置した。泉佐野市内の多くの幼稚園・小中学校が学級(学校)閉鎖する中で、当園ではそれほどの流行もなく、迅速で適宜なる処置であったと自負している。

平成 21 年度 学校評価（学校関係者評価）

I. 最初に

今回、学校関係者委員会に提出された学校評価（自己評価）は、50 項目にもわたる質問事項からなるアンケートを基になされています。そのアンケートの質問内容も明確に表現され、全家庭からの回答ということで、自己評価そのものが、即、学校関係者評価とみなされると考えられます。

しかしながら、学校関係者委員会としての評価を改めて求められましたので、ここに学校関係者評価を提出致します。

II. A. 安松幼稚園の教育方針（人としての育み） E. 子供の人としての育ち について

④の基本的な生活習慣や、⑤の善悪のけじめの大切さ 等については、ほとんどの幼稚園で大切にされている基本項目だと思います。

むしろ安松幼稚園の明確な主張や教育理念は、次の②③⑥⑦にあると考えられます。

②教育は子供の周りから困難やプレッシャーを取り除くのではなく、それらを乗り越える力をつけることにある（98.4% 評価 4 以上の全家庭における賛成の割合：以下同様）

③幼児期には、一生懸命に頑張り、何かを成し遂げた時に感じることの出来る喜びや達成感を経験させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への積極性や自尊心を養う基となる（99.6%）

⑥幼児期に、我慢すること・辛抱することを学ぶことは大切である（99.3%）

⑦幼児期には、ちょっとした失敗の経験も必要である（98.8%）

この項目においては、否定的な評価 2, 1 は、一家庭もなく、安松幼稚園の考えを支持する家庭は、全ての項目で 98%を超えています。

この 98% 越えの数字の結果は、単に安松幼稚園の考え方を論理として頭で評価して出てきた数字ではなく、項目 E にありますように、実際に各家庭の子ども達がめざましく変化したからと評価せざるを得ません。

E の項目を観てみましょう。

③周りの人に優しくなった (90.9%)

④元気になり、気力と積極性が身についた (91.6%)

⑤頑張ることが出来るようになった (93.7%)

⑥わあ、そんな風に考えることが出来るようになったのかというような事があった (91.4%)

入園 1 年未満の 3 歳児をも含んだアンケートにおいて、これらの項目が 90% を超えるというのは、保護者の圧倒的多数が、自分の子供の変化を間近に具体的に観て、安松幼稚園の教育力を高く評価していると認められます。

評価委員会のメンバーである私たちの周りにおいても、多くのお母さん方が、安松幼稚園に入園させたからこその変化であったと話されています。

III. D. 安松幼稚園の先生 G. 保護者の変化 について

上記 E の子供の劇的な変化は、A の 98% を超えての安松幼稚園の考え方の支持・評価につながりますし、D の安松幼稚園の先生方の高い支持につながっていると分析・評価できます。

最終的につきつめますと、項目 G の④安松幼稚園に入園させて良かったかどうかの問いには、評価 1, 2 の否定的な回答は、0% 評価 4, 5 の肯定的な評価は、97.8% にのびます。

このアンケート結果より、学校関係者としては、多くの保護者が、「今後も、現在の安松幼稚園のままであってほしい」という強い希望を持っていると強く感じるとともに、実際にそういう声を多く聞きます。

安松幼稚園に入園させて良かったかどうかという G④ のアンケート結果が全てを物語っていると考え、他の項目の分析・評価については、次の IV で少し触れたいと思います。

IV. 最後に

学校関係者評価委員会では、「アンケートだけでは物足りなく自分の安松幼稚園に対する想いを文章に綴られた」お母さん方の感想や意見を次に紹介して、学校関係者評価を終わりと致します。

●B. 安松幼稚園の考え方(教材面)

先生の古典の指導は素晴らしいです。娘の心にしっかり根付きました。

既に卒園している長女にも教えてもらいたい！！と、思いました。

●C. 安松幼稚園の行事

年長のマラソンが始まってからは、年少・年中の頃と比べて風邪を引かないようになりました。かなり体力がついたと思います。そして「次は〇周走るぞー！」と、やる気がどんどん出てきました。

●D. 安松幼稚園の先生

先生方の熱心なご指導、そして達成した時には一緒に喜んで下さる姿に、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

他の幼稚園から安松幼稚園に転園してきたお母さんに聞いたのですが、「先生の元気が違う。安松幼稚園に来てから子供が生き生きしている」と言っていました。やはり安松の先生はすごいなあと思いました。

●D. 安松幼稚園の先生

やはりベテランの先生方の指導力は素晴らしく、一朝一夕で身につくものではない事がよくわかりました。先輩の先生方の指導の仕方や指揮の仕方などを、真剣に観て学ぼうとする若い先生方の姿を行事の度に見ました。このようにして先生のレベルが伝わっていくのかと、親として先生方の気持ちを嬉しく思いました。

●E. 子供の人としての育ち（安松幼稚園に入園してからの変化）

縄跳びを始めた頃はなかなか跳ぶことが出来ませんでした。家でも幼稚園でも練習し跳べるようになりました。諦めずに頑張ることが出来るようになりました。

●F. 子供の各領域における育ち

文字を書くことが好きになり、家で色々なことを書いてくれます。
作品展を通じて、国旗や外国のことに興味をもつようになりました。

●F. 子供の各領域における育ち

①に関しては、長女が小学校に行きよくわかりました。今では年間5万ページ読書をし、テレビを見る事はありません。これは安松幼稚園での言語指導のお陰です。

⑤については、先生が阪神大震災のお話をしてくれた時、娘は泣きながら家に帰りました。大切な人を失う悲しみや災害の恐ろしさを、未経験の子供の心に伝えた先生の力に驚きました。私が話しても伝わらないものを伝えてくれました。

⑦については、何かに挑戦好きになっていき、自己肯定感を高めていっているようです。

●G. 保護者の思い・変化

この3年間、積極性・忍耐力・集中力と色々な事を学ばせて頂きました。
たくましく成長しました。…少し略…安松幼稚園に入園させて本当に良かったです。
ありがとうございました。

●全般

いつも心のこもったご指導ありがとうございます。

このアンケートに答えさせて頂く機会を得て、「ああ私たち親子は、このような考え方の園で、こういう理念を実現して下さっている先生方のもとで、3年間過ごさせて頂けたんだなあ」と再認識致しました。

長女は小学校5年生になります。難しい年頃になって参りました。

私自身、次女が貴園に在園しております間は、折に触れ理事長先生・園長先生をはじめ諸先生方の教えに気づかされ、自らを省みることをできていたように自負しておりますが、今後も“安松魂”を親の私が忘れることなくブレない子育てをしていきたいと思っております。

このアンケート用紙をコピーしておきたいと思っております。

長女の芽生え教室の時から8年間、本当にお世話になりありがとうございます。

娘たちの社会の一員としての初めての集団が、また私の母親としてのデビューが貴園で本当に本当に良かったと思っております。

●全般

姉の進学した小学校には教育熱心な方が多いですが、お勉強には熱心でも、人として大切な小さな小さなものを見落としているんじゃないかと、ある時期から感じるようになりました。

年々モラルのない方が増えてきて、マナー（人の気持ちをわかってほしい）を知らない子供だらけになってきて残念に思います。

そんな中でも姉は、安松幼稚園で教えてくれた大切な事を忘れず今も過ごしているのは、幼少期に安松幼稚園で人間としての当り前の事を教えて頂いたからと今も感謝しております。

あと1ヶ月で弟も幼稚園卒園となりますが、これからもよろしくお願ひします。

安松幼稚園の多くの保護者の真意がこれらの文章に表れているものと考え、アンケートを基にした自己評価に血肉をつける意味としても、ここに最後のまとめとして記しました。

また新型インフルエンザに対する幼稚園の対応は、迅速かつ適正なものと評価致します。

以上が自己評価を基にしてなされた学校関係者による分析・評価ですが、自己評価が適正になされているものとみなします。